

事業所名		横浜市南部地域療育センター 児童発達支援事業所「はらっぱ」		支援プログラム		作成日		2024 年		10 月		1 日	
法人（事業所）理念		法人　：「道なきところに道を」障害児・者のご家族の地域生活（暮らし）を支援するため、医療と福祉の面から明るい未来を歩むための新しい「道」を創っていきます。 事業所：私たちは親子支援、家族支援、地域支援を療育の基本と考えます。そして、公正、公平、有用な地域療育を目指します。											
支援方針		医療・相談・保育の連携により、多様な視点から家族とこどもへ支援する。 こども自身の「わかる」や「やりたい」という気持ちを大切に支援する。家族がこどもへの理解を深められるよう支援する。 地域での生活を支えるための相談や情報共有を行う。											
営業時間		8　　時　　　45　　分から　17　　時　　　15　　分まで				送迎実施の有無		無					
		支　援　内　容											
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善　／　生活のリズムや生活習慣の形成　／　基本的な生活スキルの獲得 ☐ 来所時毎回の体温チェックや口頭での質問により、健康状態を確認する。 ☐ 登降園時の支度を通して、自分の持ち物の管理等の習得を支援する。 ☐ 排泄・着替えの動作について、適切な排泄の仕方や身だしなみの整え方等、意識を促し定着化を支援する。											
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上　／　感覚の特性への対応 ☐ 興味のある活動を通して、能動的なアプローチを引き出し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得を支援する。 ☐ 扱いやすい道具の工夫により、動作スキルの向上を支援する。 ☐ 感覚の偏りに対する環境や着席姿勢を保持しやすいよう、椅子や机の工夫を行う。											
	認知・行動	認知の発達と行動の習得　／　空間・時間、数等の概念形成の習得　／　対象や外部環境の適切な認知と行動の習得　／　行動障害への予防及び対応 ☐ 活動の際には、見本の提示や手順書で説明を行うなど、こどもの理解に合わせたコミュニケーション手段で、適切な振る舞いや行動を伝える。 ☐ 教材を通して、同異を学び、絵やひらがなを通して、物や自己・人との関わりの理解を促す。 ☐ こどもにとって生活、行動しやすい空間・環境づくりを行う。											
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用　／　言語の受容及び表出　／　コミュニケーションの基礎的能力の向上　／　コミュニケーション手段の選択と活用 ☐ 遊び等のこどものモチベーションが高い場面で、実働動作や絵カード等を活用して、自発性のコミュニケーションの定着化を支援する。 ☐ 支度や机上課題を通して、完了報告や援助要請等、大人に伝える練習を行う。 ☐ 遊びや活動を通して、自分の気持ちを表現し、適切なコミュニケーション習得を支援する。											
	人間関係 社会性	他者との関わり（人間関係）の形成　／　他者との信頼関係の構築　／　自己の行動調整能力／　仲間づくりと集団への参加　／　遊びを通じた社会性の発達 ☐ スケジュールを実物・絵・写真等でこどもの理解に合わせて視覚的に示し、見通しを持ちながら自発的に行動できるように支援する。 ☐ グループ活動において、相手や順番を意識する等、集団活動へ適切に参加できるように支援する。 ☐ 集団における正しい言動や振る舞いを確認し、気持ちや情動の調整ができるように支援する。											
家族支援		家族がこどもの発達と特性について理解を深めていくために、勉強会や療育参観を実施。こどものことを他者へ伝えていくための土台作りを支援する。家族同士での交流や気持ちの共有を支援する。				移行支援		就学に向けて、新たな過ごしの際にスムーズに移行できるように、家族の意向をもとに療育報告書等により移行先への情報提供を行う。					
地域支援・地域連携		☐ 幼稚園や保育所等・就園先への巡回訪問の実施、支援内容の確認をする。 ☐ 学校や児童発達支援事業所と連携し、支援内容を確認する。				職員の質の向上		OJTの充実とともに、事業所全体・部署単位の研修計画をそれぞれ作成・実施し、職員の資質向上、支援力の平準化を図る。					
主な行事等		週1日の通所のため、行事は無し											